

男女共同参画広場ゆめおーくに図書コーナーがあります。
自由に閲覧することも貸出もできます。
貸出はおひとり2冊まで。貸出期間2週間。市内在住か在勤、在学の方。
(確認できるものをお持ちください)
下記に紹介している性教育の本もありますので、ぜひご活用くださいね。



「性教育」って学ぶ機会ありましたか?
これらの本を読んで「目からウロコ」とはこういうことか!
と思いました。奥が深いし、生きていくための大切なエッセンスがたくさんつまっています。どうぞ、みなさんも読んでみてください!! 自分のために、そして子どものために!

<編集後記>
私自身「性教育」について詳しく知ろうとしなかったことを後悔しています。学んでみて「ああもっと早く学んで子どもに伝えておきたかった!」と思いました。正しい知識と情報を身につけ、性をポジティブなものにしていくことが幸せな人生の基礎となります。それを子どもたちに伝えていくには、学ぶ機会のなかった大人がまず「性教育」についてアップデートしていきたいですね。ただ、子どもたちは「親には知られたくない」と思っていることも多いです。困ったことがあったときに、子どもが相談できる「絶対的な味方」でいられる関係性を作っておきたいですね。(高林)

ゆめおーく
女性相談

面接相談・予約問合せ 電話番号
TEL 0744-47-3090
■第1土曜日 10:30~13:30
■第2・3・4水曜日 9:00~12:00
(一人50分)

電話相談専用 電話番号
TEL 0744-29-5153
■第1~4水曜日 13:00~16:00
(第5水曜日は休み)

橿原市男女共同参画広場 ゆめおーく 〒634-0804 奈良県橿原市内膳町1-6-8 かしはらナビプラザ4階
Tel 0744-47-3090 開館時間 9:00~17:00 休館日 日曜日・祝日・第2、第4、第5土曜日・年末年始

ゆめおーくだより

2022
(令和4年)
11月(No.32)

かしはらナビプラザ4階 男女共同参画広場



「性」は私たちが生きていくうえで、いろいろな形でかかわってきます。

自分たちがどのようにして生まれてきたのか、身体のしくみ、成長のこと、健康や安全、
友だち関係や恋愛、学校や家族の中での役割、子どもを持つか持たないかといった将来のことも含め、私たちがどう生きていくかということ全てにかかわることです。

「性教育」は「自分自身を大切に、他者を尊重すること」を学ぶこと。

子どもたちへ伝える前に、まずは私たち大人から学び直してみませんか。。

11月12日~25日 「女性に対する暴力をなくす運動」期間

配偶者からの暴力、性犯罪、ストーカー行為、売買春、人身取引やセクシュアルハラスメント等、女性に対する暴力は、女性の人権を侵害するものであり、決してゆるされない行為です。

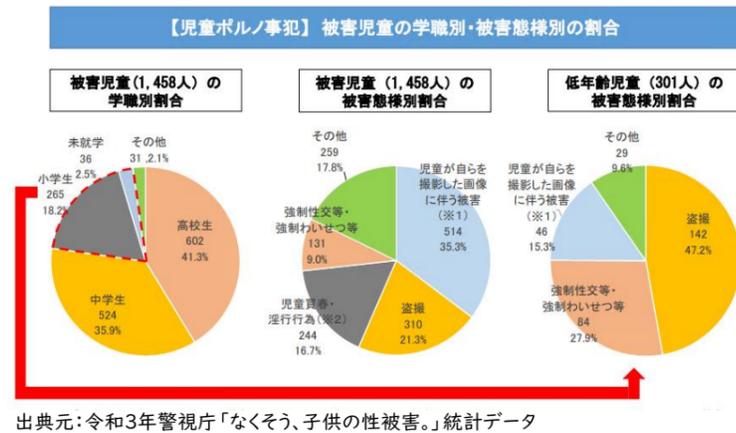
橿原市では第3次橿原市男女共同参画行動計画「自分らしく輝く かしはらプラン」に基づき、市民すべての人の人権が尊重され、個性と能力が輝く社会を次世代につないでいくため、男女共同参画広場ゆめおーくを中心にさまざまな事業を展開しています。

「性教育」はなぜ必要でしょうか？近年、教育関係者からの性的被害や子どもの虐待死などのニュースが後を絶ちません。身体の正しい知識や情報を伝えることで防げたのではないか。性知識が乏しいことやネットなどの誤った情報によって悲惨な結果を招くことは防ぎたいです。子どもの成長に応じ、少しずつ伝えていくことで「自分を大切にすること」を学び、その先には他者をも大切にすることを学んでいきます。性教育を学ぶことで子どもの心がどのように成長するのかを一緒に考えていきませんか。

性暴力から子どもを守るために「プライベートゾーン」を子どもに教える！

プライベートゾーンとは水着を着たときに隠れる部分と、口のこど。自分だけの大切な身体なので「他人に見せない、触らせない」「他人のものを見ない、触らない」ということをわかりやすく、繰り返し教える必要があります。

そして、もし誰かに「プライベートゾーン」と「見せて」「触らせて」と言われたり、嫌なことをされそうになったら、はっきり「イヤ」といってその場から逃げて、相談してほしいと伝えておくことが子どもを性被害から守るために大切なことです。



就学前の子どもたちも被害にあっています。性暴力は知らない人からより、監護者や顔見知りからの被害が多いと言われています。

包括的セクシュアリティ教育

残念ながら、日本は「性教育」に関して後進国です。多くの国ではユネスコの「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」に沿って性教育が行われています。8つのキーコンセプトによって発達段階、年齢ごと学習目標が設定されています。

「自分の身体と心は自分だけのもので、決定権は自分にある」という自己決定できるスキルを身につけて成長して欲しいですね。

世界の性教育 > 国際セクシュアリティ教育ガイダンス

国際セクシュアリティ教育ガイダンス



国際セクシュアリティ教育ガイダンス

<https://sexology.life/world/itgse/>

是非、参考に！

8つのキーコンセプト

- ① 人間関係
- ② 価値観、人権、文化、セクシュアリティ
- ③ ジェンダーの理解
- ④ 暴力と安全確保
- ⑤ 健康とウェルビーイング(幸福)のためのスキル
- ⑥ 人間のからだの発達
- ⑦ セクシュアリティと性的行動
- ⑧ 性と生殖に関する健康

幼少期からの性教育で、望まない妊娠を防ぐ！

日本の性教育は月経、射精、ヒトの誕生、二次性徴、性感染症、避妊などを学びますが、「性交」については扱わないという歯止め規定があります。

つまり、妊娠する行為や避妊の正しい知識を学校で学ぶことができず、先輩や同級生、インターネットなどを通して得た知識が、本当に正しいのか、本当に充分であるのか、わからないままに性行為を行っているのが実情です。また、幼い頃からPC やスマートフォンに触れている現代の子どもたちがアダルトサイトなど有害コンテンツに触れるのを避けることは難しく、SNS に起因する性被害も増えていて、知識不足から気づかぬうちにトラブルに巻き込まれるケースもあります。

妊娠の仕組みと正しい避妊法を知り、自分の身体、性感染症の知識をきちんと身につけることによって、望まない妊娠や性感染症を防ぐことができます。望まない妊娠はその後の人生を大きく変えてしまいます。その多くは中絶に至ることとなり、また出産しても養育の放棄や児童虐待などの問題が指摘されています。どちらにしても心に大きな傷を残します。それはなんとしても防ぎたいところです。

ただ妊娠、性感染症などで「セックス=怖い」にならず、基本はコミュニケーションであるということを学んでほしいですね。

「性教育」は、自分の身体と他人の身体を同じように大切にし、お互いを尊重し合って生きるためのものです。

同調圧力に飲み込まれず、性別に縛られず、その子らしく生きていくためのものです。

性暴力の被害者にも加害者にもならないためのものです。

意見がぶつかったときにどう折り合いをつけるか、つらいときに頼れる先をどう確保するか、

現実的な考え方やスキルを身につけるためのものです。

「性教育」とは、その子が自分自身を大切にし、幸せに生きるための教育なのです。

「泌尿器科医ママが伝えたいおちんちんの教科書」岡田百合香著より抜粋

「性」を「口にしてはいけないこと」「恥ずかしいこと」とネガティブではなく、まず大人が自分の身体や正しい知識を学び直しポジティブなものにしていきたいですね。そして性暴力、デートDV、性的同意など「NO」を言えることも大切です。ジェンダーによる思い込みや「嫌よ嫌よも好きのうち」なんてことがまかり通らないよう、お互いに思いや考えを確認することを大人が実践し、子どもたちに苦しみやしがらみを引き継がせないことで、一人でも多くの子どもと大人がよりよい人生を送れることを願います。